

箱根町こども計画(素案)に関するパブリック・コメント 実施結果

1 パブリック・コメントの概要

- (1) 意見募集期間 令和6年12月25日(水)～令和7年1月23日(木)
- (2) 意見提出者数 2名(内訳:メール提出1名、電子申請1名)
- (3) 意見件数 10件

2 提出された意見と意見に対する町の考え方

■「第3章 計画の基本的な考え方」について

No.	ご意見の内容(要旨)	町の考え方
1	(P61:基本理念) こども・若者の意見を収集する方法として、オンラインアンケートや学校・職場での意見聴取など、参加しやすい多様な手法を提案します。	ご意見のとおり多様で参加しやすい手法による意見聴取が必要と考えておりますので、施策の内容や対象に応じ、手法等について検討しながら行っていきます。(子育て支援課)

■「第4章 基本目標ごとの取組」について

No.	ご意見の内容(要旨)	町の考え方
2	(P70:基本目標1「結婚・家庭生活への支援の充実」) 出会いについて、16～39歳のアンケートの回答からも、サービス業での就労者が多く、勤務が不規則で出会う場が少ないので、安心して使えるマッチングアプリやDMOと連携し出会いの場を創出することを提案します。	民間事業者と連携するなどして若者を対象とした出会いの場や交流の場の提供に努めてまいります。(企画課)

3	<p>(P85：基本目標3「子育て環境の整備」)</p> <p>交流を目的に町の様々な課がイベントを考えてくれているようだが、日程をしっかりと調整した方が良い。よく、生涯学習課と子育て支援課のイベントが同じ日に設定されていた。両方魅力的なイベントである分、とても残念だった。</p>	<p>今後は、ご指摘いただいたことがないように日程の設定を行っていきます。(子育て支援課)</p>
4	<p>(P87：基本目標3「子育て環境の整備」)</p> <p>子ども食堂やフードバンク事業に対する町の支援を強化し保護者の負担軽減を提案します。</p>	<p>子ども食堂は、地域の子どもの居場所や子育て家庭の経済的負担軽減を図る重要な事業だと認識しています。今後もフードバンク事業を含め、地域のニーズや事業者等の要望の把握、必要な支援の検討を行っていきます。(子育て支援課)</p>
5	<p>(P89、90：基本目標3「子育て環境の整備」)</p> <p>こどもが病気になった時の病児保育を提案します。</p>	<p>現在、町では病児保育を実施していませんが、保護者支援を図る観点から事業の実施について検討を行っていきます。(子育て支援課)</p>
6	<p>(P89、90：基本目標3「子育て環境の整備」)</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業については、身近な小田原でも成功している例もあるため、小田原市にノウハウを聞くなどして進めていくとよさそうで賛成です。</p> <p>子どもが小学生になった今、箱根内にやりたい習い事が無いことがネックで、親が仕事の日に学童へのお迎えや小田原方面への送りをしてくれたらとてもありがたいと思うが、どうしても交通事情(湯本付近混雑)があるため、小田原への送迎者を見つけるのが難しそうだなと思う。しかし、病気の時、親が仕事を休めないが学校もない時にファミサポさんに手伝ってもらえるような環境があれば、助かる人は多いと思う。</p>	<p>現在、町ではファミリー・サポート・センター事業を実施していませんが、子育て世帯の送迎などのニーズに対応できるよう、近隣市町の実施状況などを参考にするなどし、体制の確保など実施について検討していきます。いただいたご意見は、貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。(子育て支援課)</p>

7	<p>(P93-94、96：基本目標3「こどもの健やかな成長に資する教育環境の整備」)</p> <p>教育環境の整備では保護者が塾に通わせる理由として、高校受験に際してどの高校を選択するか基準がない事が一因であることが挙げられる。</p> <p>学力向上として中学1～2年生は町の補助による「オンライン学習塾」の推奨。3年生からは「オンライン学習塾と土曜塾」の併用または選択。</p> <p>模擬試験受験に対する補助を提案します。</p> <p>移住・定住者を増やす施策として、話せる英語教育を提案します。</p> <p>ICT教育の推進として、専門知識と経験のある民間人を講師とし、長期休業中に講座の開設などでIT人材の育成を提案します。</p>	<p>・箱根土曜塾では、開始当初からオンライン学習ソフトを併用して学習しており、令和6年度からは箱根土曜塾を受講していなくても、希望者はオンライン学習ソフトのみの学習も可能とし、当該ソフト利用料の半額を補助しています。対象は、中学3年生としていますが、対象の拡大については、利用状況等を踏まえて判断したいと考えています。</p> <p>・英語教育については、各小・中学校への外国人英語講師の派遣や英語検定の全額補助の実施など、各学校の代表教員と担当管理職、教育委員会担当で構成する「国際交流推進プロジェクト」において研究・協議しながら推進しています。外国人観光客にインタビューをしたり、海外の学校とオンラインで交流したりするなど、児童・生徒が実際に英語を話す機会も設けるようにしています。</p> <p>・模擬試験の補助とIT人材の育成のご提案については、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。(学校教育課)</p>
8	<p>(P105：基本目標6「生活環境の整備と安全の確保」)</p> <p>子育てしやすい住宅の整備として、町営住宅をコレクティブ化に建て替え空き家住宅を早期にリフォームまたはリノベーションし、子育て支援住宅として貸出し、若い人が定住できるように提案します。</p>	<p>現在、町営住宅の建て替えや、空き家の改築等の予定はありませんが、いただいたご意見は、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。(福祉課、企画課)</p>
9	<p>(P105：基本目標6「生活環境の整備と安全の確保」)</p> <p>子育てしやすい住環境作りについて。町営住宅は収入制限なく入居することができるのか。できないのならファミリーサイズの賃貸物件が必要。現在仙石原に賃貸物件が多いと感じるが、バランスよくどの地域にも子育て世帯が入居できる施設が整備されると好ましい。</p>	<p>町営住宅の入居申込みには法律で定められた収入の基準があります。</p> <p>いただいたご意見は、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。(福祉課)</p>

■「計画全体」について

No.	ご意見の内容（要旨）	町の考え方
10	<p>（計画全体）</p> <p>「箱根町こども計画」はこどもを中心に据えた地域社会の実現に向けた重要な取り組みであり少子高齢化ではあるが、毎年4月に転入してくる若い人の出会いの場を創出し、定住に繋げるための住宅の提供、車の免許を持たない人への支援（バス運賃の補助）や車購入時の補助金や医療施設の誘致等、生活上の不便さを感じさせない施策の検討が必要である。</p> <p>本計画の進捗状況を評価するために、具体的な目標値や指標を設定定期的に公表する仕組みを取り入れてほしい。</p> <p>地域住民やこども自身からもフィードバックし改善につなげてほしい。</p>	<p>人口減少・少子化対策を進める上で、町に充実してほしいと思う施策で「住宅支援」が44.7%、「結婚に対する支援」や「出会いに対する支援」も20%を超えています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただくとともに、若者との対話を増やし、定住につながる効果的な施策を研究してまいります。</p> <p>また、本計画には目標値や指標は設定していませんが、事業の実施状況は、毎年、子ども・子育て会議で報告し、進捗管理を行います。その中で、総合計画の指標となっているものや、参考となる実績値についても報告し、実施状況報告は町ホームページで公表を行います。（企画課・子育て支援課）</p>